

# 広島全国大会、盛大に開催

## 第 20 回電気工事業全国大会

節目となる第 20 回全国大会  
徳住会長は構造改革へ向けて決意を新たにす



## 成人式迎えた大会 全国から1300余名が参加

全日本電気工事業組合連合会主催 全中国電気工事業組合連合会主催による  
第 20 回電気工事業全国大会が 11 月 6 日、広島市内のリーガロイヤルホテルにお  
いて開催された。

メインテーマに「平和都市広島から、輝く未来へ羽ばたけ電気工事業」を掲げ、電  
気工事業界の構造改革、提案型技術営業の普及拡大を決議した。

式典には、来賓、組合員、青年部など 1300 余名が参加、組合員のさらなる結  
束を図るとともに、新しい電気工事業界の実現に向けて、多くの課題を解決する  
契機となる大会となった。

大会式典は、国家斉唱、物  
故者への黙祷に続き、今大  
会を主催した前村隆規全中  
国電気工事業組合連合会会  
長が、全国からの参加者を前  
に歓迎の言葉を兼ねた開会  
の辞を述べ、開会を高らかに  
宣言した。

主催者あいさつで、徳住  
一郎全日電工連会長は、今  
後の電気工事業界の将来を  
展望する上で、最大の課題  
は構造改革である。」と、急  
速に進む規制改革に対応す  
るシステムづくりが重要で  
あると強調した。なかでも、  
需要家の立場に立った提案



あいさつする徳住一郎会長



壇上をはじめ多くの来賓がお祝いにかけつけた

## 平和都市広島から、輝く未来へ 羽ばたけ電気工事業

### 広告スペース

#### 今月の紙面

- ・広島全国大会開催 16 面
- ・平成 15 年秋の叙勲・褒章 7 面
- ・工組だより 11 面
- ・われらが青年部 (全九州) 12 面

### 全日電工連

〒105-0014  
東京都港区芝2-9-11  
全日電工連会館1F  
TEL03(5232)6801  
FAX03(5232)6855  
http://www.znd.or.jp  
zenichio@znd.or.jp

## 広告スペース

# 電気工事業の構造改革を！

## 大会決議

- 1 規制緩和に柔軟に対応できる  
電気工事業の構造改革
- 2 お客様の生涯顧客化に向けた  
提案型技術営業の普及拡大

## 第20回電気工事業全国大会 大会決議

長引く不況から日本経済

は深刻な状況下にあり、我々中小の電気工事業界にとって、生死をかけた切実な問題となっております。政府におかれましては、抜本的な不況対策を強く要望するものであります。

一方政府は、行財政改革、規制改革を構造改革の柱に掲げ、日本再生へ向けた新しい諸施策を進めておりま

す。

不況克服と規制改革という二つの課題は、我々中小の電気工事業界にとって誠に厳しいハードルであり、すが、我々は、この社会環境の変化に勝ち抜くためには、十分な危機意識をもって意

識改革を図るとともに、柔軟な対応を求め、我々業界の垣根を超えた競争の時代に入った。

今後、我々は、常に我が電気工事業界を取り巻く環境の変化に注視し、研究と対策に努め、果敢に挑戦する姿勢が強く求められるところである。

身近な新規事業としては、電気事業法一部改正に伴い、一般用電気工作物の調査業務、自家用電気工作物の保安業務について一部規制が撤廃され、我が業界にも参入の道が開かれたことは、我が業界の将来展望を図る

上で誠に大きな意義をもつものであり、これを絶好のビッグビジネスチャンスととらえ、組織をあげた積極的な取り組みとともに、それに対応できる組織の構造改革を進めなければならぬ。

平成 15 年 11 月 6 日



全日電工連執行部



大会決議文を受け取る徳住会長



場内を埋めた多数の参加者



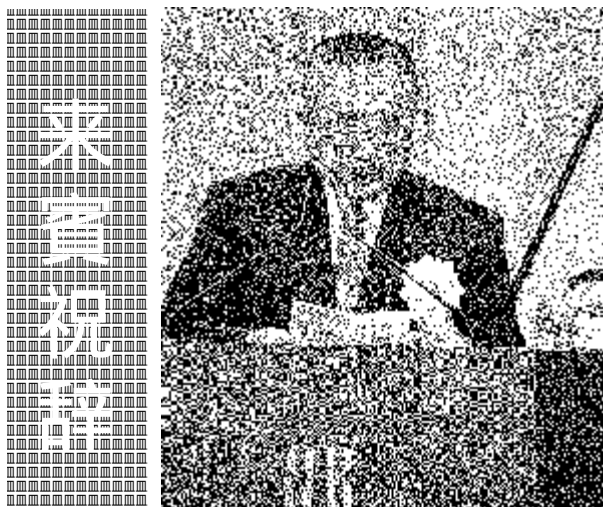
藤田雄山広島県知事



石原伸晃国土交通大臣 (代読)



中川昭一経済産業大臣 (代読)



猪股榮三副会長

## 広告スペース



# 提案型技術営業の普及拡大へ

## 次世代の足がかりの大会

全中国電工連会長 前村 隆規

本日は、全日本電気工事

業工業組合連合会の第 20 回  
全国大会に、各地からたく  
さんのご参加をいただき深

くお礼申し上げます。  
われわれ全中国電工連は  
広島岡山島根鳥取山口  
の 5 県で組織されておりま  
いた。本州の一番西でそれぞ  
れの伝統、歴史、文化がこ  
ろろとあります。こうしてお集まり  
いただき、業界の全国大会  
を開催する来年度の 21 回大会  
は、実施内容や方法など、時  
代の変化に際し、正しい形  
で実施することとしており  
ます。

の開催地としてお世話を  
することにしました。  
日本経済が非常に厳しく不  
透明なこの時期、おいでを  
いただきました。来賓の  
方々、関連業界の皆さま、北  
は北海道から南は沖縄まで  
たくさんの方においでいた  
りました。皆さまのご協  
力、この大会が無事終了  
いたしますことを、切にお  
願い申し上げます。

### 構造改革へ向けてまい進

#### 開会の辞

副会長 岸田 進喜

昭和 58 年以来、全国各地  
で開催してきた本大会は  
今回の広島大会で 20 回目と  
なり、過去の大会では大き  
な足跡を残してきたと認識  
しております。

本日は遠路、また大変ご  
多忙なか、多数の皆さま  
にご臨席を賜り、誠にあり  
がとうございました。さら  
に組合員の皆さま、青年部  
の諸君も参加いただき、今  
大会が盛会のうちに終了す  
ることができました。

平成 16 年 10 月 22 日  
次回は東京で開催

次回開催地  
あいさつ

副会長 小澤 浩二

この間、日本の経済は、バ  
ブル期を経て空白の 10 年間、  
そして現在まれにみる深刻  
な不況期へと移行しており  
ます。一方で、日本政府の  
行財政改革、規制改革の促  
進が進み、また新しい技術  
や設備が開発されています。  
市場構造が変革期を迎え  
るなかで、各業界は新規事  
業を求めて新たな競争時代  
へ突入しており、私たち電  
気工事業界も思い切った意  
識改革を計りながら、業界

主催の全日電工連としま  
しても、主管の全中国なら  
びに広島県電工組、中国各  
県工組の関係者に取りま  
しても、この上もない喜びで  
あります。関係者一同に成  
り代わりまして、ご列席い  
ります。



小澤浩二副会長



前村隆規全中国電工連会長



高野憲一郎青年部代表幹事



岸田進喜副会長

来賓祝辞  
電気工事と保安との  
重要さ訴え  
全国大会の意義称える



袴田薫生東芝ライテック社長



西田一成松下電工社長 (代読)



白倉茂生中国電力社長



秋葉忠利広島市長

## 広告スペース

# 全日電工連全国 青年部協議会 意見発表

## ＩＴで広げよう私たちのネットワーク

本日の第20回電気工事業  
全国大会におきまして、私  
たち全日電工連全国青年部  
ない重要課題ではないかと  
協議会として、意見を発表  
させていただきます。私  
たち青年部は、今後、  
全国6300余の青年部会  
員が連携し合い、業界の諸  
先輩のご指導を頂きながら、  
業界の抱える多くの課題に  
取り組み、青年部活動の一  
層の活性化に努めてまいり  
ます。

## 意見交換会を開催

### 全国各地から470名が参加

全日電工連青年部協議会  
は11月5日我6日牙の両日、  
広島市の八丁堀シャング  
において、全国大会に先立  
ち、全国青年部協議会意見交  
換会を開催した。予想をは  
るかに上回る470名が参加  
し、初日には、総務委員会担  
当猪股副会長と、勝葉委員  
長が出席、次の世代を担う  
青年部の将来に大いに期待  
を寄せていた。

主催者あいさつに続き、  
パネルディスカッションが  
行なわれた。コーディネー  
ターに高野憲一郎代表幹事  
(全中国)、島田勝利代表幹  
事(中部)と渡辺孝代表幹  
事(全関東)がパネリスト  
として、インターネットの  
構築、情報ネットワーク整  
備に伴う「ＩＴ推進事業」を  
テーマに、約一時間行なわ  
れた。



高野憲一郎青年部代表幹事

などが討論された。  
二日目は、テーブルディ  
スカッションでの意見がま  
とめられ、その発表が行な  
われた。

また、会場には徳住一郎  
全日電工連会長を始め、全  
日電工連執行部も出席、青  
年部への期待がうかがえた。  
徳住会長は、電気工事業界  
の将来に向け、みなさんの  
智慧を借り、力を合わせて  
業界を盛り上げたい」と、  
親会・青年部が丸となつ  
て組織の活性化を図ってい  
く考えを示した。

意見発表会のコーディネ  
ーターは、前日と同じく高  
野代表幹事、パネリストに  
島田代表幹事、渡辺代表幹  
事、岡本信吾代表幹事(北  
海道)、曾津圭一郎代表幹  
事(東北七県)、松下義則代  
表幹事(北陸)、坂本仁代表  
幹事(関西)、吉井和幸代表  
幹事(四国)、栗田博昭代表  
幹事(全九州)を迎えて行な  
われた。

が低迷することが懸念され  
ており、少ない労働人口で  
高い成果を上げるためには  
高度情報化社会とも言われ  
るＩＴの活用が必要条件と  
されており、失業率の  
悪化の問題に対しても、  
ＩＴが発展することで、関  
連ビジネスが潤い、経済が  
発展することで雇用の拡大  
も期待されます。更にＩＴ  
を活用することで企業の生  
産性を上げるだけでなく、  
日本経済再生につながって  
いくと思うのであります。



青年部協議会代表幹事

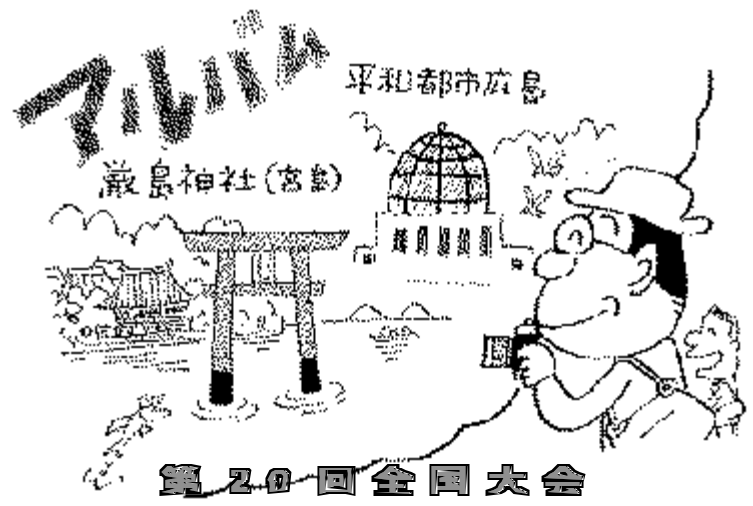


熱気溢れる会場

その後、約  
10名ずつで  
のテーブル  
ディスカッ  
ションへと  
移った。事  
前に行った調  
査アンケート  
の結果報告  
を交えなが  
ら、ＩＴを  
導入して便  
利になった  
こと、自社  
ホームページ  
の開設予定、  
ＩＴを利用  
して、提案型  
技術営業に  
活かせるか  
された。

広告スペース





小林稔副会長



高桑健治全日電材連会長



西出徹雄中国経済産業局長

【写真説明】 会場を埋めた1300人の参加者 青年部意見交換会 司会の門田洋子さん 20回目を迎えた全国大会 大会の成功を参加者全員で祝した 全国から集まった仲間達



# 広告スペース





# 平成15年の栄典

## 全日電工連関係は8氏授章



谷崎博志夫妻



池田貫一夫妻



熊谷英夫夫妻



高橋文夫夫妻



山根常政氏

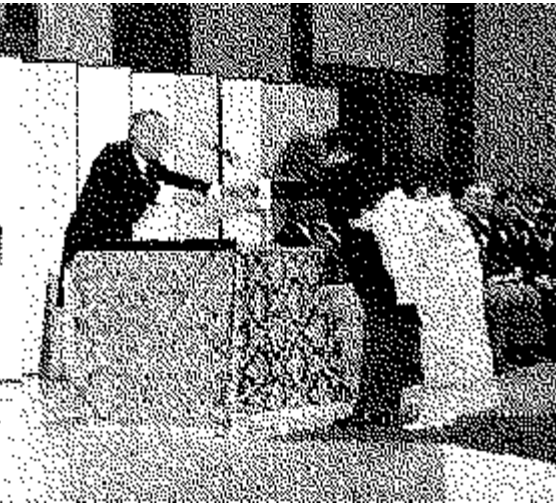


佐藤音八夫人

政府は11月3日付で平成15年の叙勲・褒章受賞者を発表し、全日電工連では、旭日小綴章、旭日双光章、黄綴褒章を計8氏が授章した。経済産業省原子力安全保安院関係では、猪股榮三北海道電気工事業工業組合理事長、池田貫一宮城県電気工事業組合理事長、高橋熊谷英夫滋賀県電気工事業組合元副理事長の2氏が授章した。また、山根常政大阪府電気工事業組合元副理事長の褒章伝達式は11月7日に、また山根、熊谷両氏の褒章伝達式は11月13日に東京・品川プリンスホテルで行なわれた。



猪股榮三夫妻



代表で叙勲を受ける池田氏



村田成二事務次官



平成15年秋の叙勲伝達式

### 特別委員会

## 調査業務の 受託拡大検討 将来へ向けて体制構築

11月18日、特別委員会（岸田進喜委員長）が開かれた。ワーキンググループの報告を下に行われた特別委員会。会議に先立ち、10月中旬に開かれたワーキンググループの報告がなされ、同委員会は、その報告を中心に会議が進められた。最初に、一般用電気工作物の保守管理業務の受託拡大検討が行なわれた。旧保守管理委員会からの引き継ぎ事項であるため、全体的な説明と活性化対策を行なった。一般用電気工作物の調査業務の受託拡大に向けての検討では、平成14年度受託実績や、平成15年度の見込みを分析したところ、パフォーマンスが偏っていたり、受託シエアに温度差があることがわかった。地域によって、諸事情があるため、画一的な結論を出すには至らなかったが、今後も受託拡大に向けて引き続き検討を進めていく。同委員会は、現在の厳しい環境にどのように対応していくか、より良い電気工事業界の将来に着眼し、今後

任技術者の外部委託（不選任承認）制度の改正に至る経緯、改正後のポイントなどの説明が行なわれた。参入推進に当たっては、検討すべき課題や視点があり、同委員会では慎重に検討を進めていく。

## 第一種電気工事士 定期講習実施中

第一種電気工事士定期講習は、電気工事法に定められた保安の確保を目的とした法定講習である。第一種電気工事士資格取得後5年目、および前回定期講習を受講後5年目の人が講習受講対象者である。昨年4月から、独立行政法人製品評価技術基盤機構の下で実施されており、現在平成16年3月分（受付期間：平成15年11月25日～平成15年12月10日）の定期講習の申し込み受付が行われている。申し込み方法は、独立行政法人製品評価技術基盤機構から、順次受講対象者に発送される申込書を受講希望地へ郵送する。早めにお申込を。なお、平成16年3月の受講対象者については、11月中旬に申し込み書の発送が行われている。

平成16年3月分

広告スペース



平成 15 年度第一種電気工事士筆記試験地区別申込者・受験者・合格者  
( 単位：人、％ )

地区別	受験申込	受験者数	受験率	合格者数	合格率
北海道	1,614	1,432	88.7	558	39.0
東 北	3,552	3,109	87.5	1,217	39.1
関 東	10,446	8,685	83.1	3,744	43.1
中 部	3,192	2,716	85.1	1,125	41.4
北 陸	1,328	1,145	86.2	434	37.9
関 西	4,376	3,690	84.3	1,521	41.2
中 国	1,374	1,202	87.5	528	43.9
四 国	1,647	1,470	89.3	685	46.6
九 州	3,715	3,215	86.5	1,347	41.9
沖 縄	685	578	84.4	191	33.0
合 計	31,929	27,242	85.3	11,350	41.7

備考：率は小数点第 2 位を四捨五入

平成 15 年度第一種電気主任電気技術者試験試験別 申込者数・受験者数・合格者数・科目合格者数  
( 単位：

地 区	試験地	一次試	受験者	受験率	合格者	合格率
北海道	札幌市	60	51	85.0	16	31.4
東 北	仙台市	109	96	88.1	17	17.7
関 東	東京都	722	623	86.3	184	29.5
中 部	名古屋	234	203	86.8	47	23.2
北 陸	富山市	95	88	92.6	29	33.0
関 西	大阪市	301	253	84.1	83	32.8
中 国	広島市	99	86	86.9	20	23.3
四 国	高松市	63	57	90.5	15	26.3
九 州	福岡市	144	124	86.1	30	24.2
沖 縄	宜野湾	9	9	100.0	2	22.2
合 計		1,836	1,590	86.6	443	27.9

( 注 ) 1. 率は小数点以下第 2 位を四捨五入 2. 受験者数は、1 科目以上出席した者の累計

平成 15 年度第二種電気主任電気技術者試験一次試験試験別 申込者数・受験者数・合格者数・科目合格者数  
( 単位

地 区	試験地	一次試	受験者	受験率	合格者	合格率
北海道	札幌市	321	283	88.2	58	20.5
東 北	仙台市	596	512	85.9	103	20.1
関 東	東京都	3,644	2,986	81.9	732	24.5
中 部	名古屋	1,421	1,216	85.6	223	18.3
北 陸	富山市	428	375	87.6	95	25.3
関 西	大阪市	1,185	995	84.0	264	26.5
中 国	広島市	454	397	87.4	91	22.9
四 国	高松市	320	282	88.1	69	24.5
九 州	福岡市	808	691	85.5	124	17.9
沖 縄	宜野湾	47	35	74.5	10	28.6
合 計		9,224	7,772	84.3	1,769	22.8

( 注 ) 1. 率は小数点以下第 2 位を四捨五入 2. 受験者数は、1 科目以上出席した者の累計

## 第一種 電気工事士 受験申込者、前年比5%増

## 電技試験センターが試験結果

奇電気技術者試験センターは、平成 15 年 10 月 5 日、全国 12 試験地において一斉に実施された平成 15 年度第一種電気工事士筆記試験の結果を発表した。

同筆記試験の受験申込者数は計 31,929 人で、前年度の 30,289 人に比べて 1,640 人（5.4％）増となった。実際の受験者数は 27,242 人で、全受験申込者数に対する受験率は 85.3％であった。

今年度の筆記試験の合格率については、10 月 23 日に開催された第一種電気工事士試験委員会において審議された。その結果、平均点が 55.1 点と低かったため、原則 60 点の合格率を 58 点以上と決定した。その

### 電気主任技術者一次試験の結果

## 一種合格率は 28%

結果、全国では 11,350 人が合格し、合格率は 41.7％であった。技能試験は 12 月 7 日に行なわれる。

平成 15 年 8 月 23 日、全国 10 試験地で一斉に実施された第一種一次試験の受験申込者は、合計 11,836 人で、前年度に比べて 262 人増となった。受験状況は、一次試験受験申込者 1、受験率は 84.3％であった。合格基準点については、0 人が受験し、受験率は 6.0％であった。

合格基準点については、電力科目および法規科目は 60％以上、科目間調整を行った理論科目および機械科目はそれぞれ 53.39％および 56.16％とすることが決定され、その結果、3 人が合格し、合格率は 2.9％であった。また、科目毎の合格者数は、毎の合格者は、理論科目が 513 人、電力科目が 946 人、機械科目が 525 人および法規科目が 689 人の合格となった。一次試験合格者を除いた科目合格者数は 818 人で、科目合格率は 51.4％であった。科目合格率は 47.1％であった。

奇電気技術者試験センターは、平成 15 年度第一種および第二種電気主任技術者試験一次試験結果を発表した。

第一種電気主任技術者試験一次試験の結果、合格率は 28.0％であった。受験者数は 27,242 人で、前年度に比べて 262 人増となった。受験状況は、一次試験受験申込者 1、受験率は 84.3％であった。合格基準点については、0 人が受験し、受験率は 6.0％であった。

合格基準点については、電力科目および法規科目は 60％以上、科目間調整を行った理論科目および機械科目はそれぞれ 53.39％および 56.16％とすることが決定され、その結果、3 人が合格し、合格率は 2.9％であった。また、科目毎の合格者数は、毎の合格者は、理論科目が 513 人、電力科目が 946 人、機械科目が 525 人および法規科目が 689 人の合格となった。一次試験合格者を除いた科目合格者数は 818 人で、科目合格率は 51.4％であった。科目合格率は 47.1％であった。

### 配線器具の日

## 講演会開催



花日本配線器具工業会（林博司会長）は、11 月 11 日、平成 15 年度の「配線器具の日」の行事を東京・第一ホテル両国で開催した。同工業会は平成 11 年に、11 月 11 日を「配線器具の日」と制定しており、五回目となる今回は、識者を招いての講演会とシンポジウムなどが行われた。

講演会は、東京電力の高岡成典氏による「一般家庭の電気保安と電力会社の役割」をテーマに、電気保安に関する歴史や、一般用れた。

シンポジウムでは、コディネイターに関東学院大学の高橋健彦教授を招いて、パネラーと「電気保安とこれからの住宅配線設備」について熱心に討論がかわされた。

では、個人の認識を深めるとともに、現状の定期調査方法についても改善していく時期であることを示唆した。

また、電力自由化については、個人の認識を深めるとともに、現状の定期調査方法についても改善していく時期であることを示唆した。

広告スペース



# NewProduct 新製品のページ

## マスプロ電工株式会社

### アンテナ一体型送受信機 60 GHz 帯 (ミリ波) を用いた 衛星放送再送信システムを共同開発

マスプロ電工は、NHK と㈱村田製作所の 3 社で、BS デジタル放送の普及を目的に、60 GHz 帯のミリ波を用いた衛星放送再送信システムを共同開発した。BS デジタル放送が共同受信できない既存の集合住宅では、戸別にベランダなどに衛星アンテナを設置するのが一般的。しかし、南西向きにベランダのないマンションや、隣接する建物に遮へいされた集合住宅では、直接 BS デジタル放送が受信できない。そのため、これらの世帯でも、BS デジタル放送を視聴できるように開発したのが、60 GHz 帯を用いた衛星放送再送信システムである。

#### 挙 主 な 特 長 渠

1. コンパクトサイズで取付簡単  
送信機・受信機は、それぞれアンテナと一体になったコンパクトボディ。ベランダなどに簡単に取付け。

2. 超広帯域伝送  
周波数帯域が最大 2500 MHz で、BS デジタル放送と、110° C S デジタル放送の右旋円偏波を同時に伝送。
3. 無線免許が不要  
無線設備の標準的な仕様等を策定する花電波産業会に、準拠した 60 GHz 帯の特定小電力を使用。  
お問合せ 緯 052-805-3366



アンテナ一体型送信機



アンテナ一体型受信機

## 松下電工株式会社

### 「自動通報機」2 モデルを 12 月発売 異常発生を音声メッセージにし 電話回線で 4 カ所へ自動通報

松下電工㈱は、高まる住宅の防犯ニーズに対応し、防犯や防災システムと組み合わせて住まいの異常発生を音声メッセージで、電話回線を通して最大 4 カ所へ自動的に通報する「自動通報機」を 12 月より発売する。

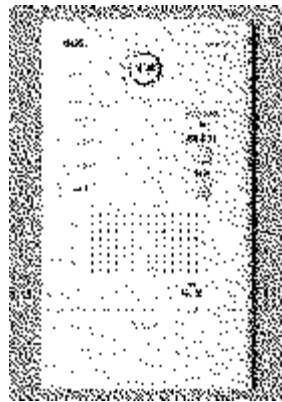
近年、刑法犯の件数の上昇や高齢者世帯の増加など、市民の安全な暮らしへの関心は年々高まりを見せ、家の異常を外出先へ通報したいというニーズが増えてきた。

同社は、従来から培ってきたテレコミュニケーション技術を基礎に、コンパクトで高機能の自動通報機を開発・実現した。

#### 挙 主 な 特 長 渠

1. 異常発生と同時に電話回線を通して 4 カ所まで自動通報。(110 番、119 番には通報できません)
2. 建物侵入や火災発生など、システム

- や機器からの入力に応じて 8 種類のメッセージで対応可能。
3. 自動通報動作後に 3 分間は通信が強制的に確保され、相手の声が自動通報機から聞こえ、相互に通話が可能。  
お問合せ 緯 06-6908-1131



## 株式会社アイチコーポレーション

### 高所作業車「スカイマスター SK11B」 作業の安全・効率化に必要な各種機能を標準装備 機動性を高めるコンパクトボディ

㈱アイチコーポレーションは各種電気工事や情報通信工事、CATV 工事などで活用できる、最大地上高 10.9 m の高所作業車「スカイマスター SK11B」を発売した。

同社従来機種に比べ、基本性能が向上。また、市街地の狭い路地まで入り込めるコンパクトボディに、作業の安全と効率化に必要な各種機能を標準装備。

#### 挙 主 な 特 長 渠

1. 作業効率アップに貢献する基本性能が向上。
2. 機動性を高めるコンパクトボディながら、フルブームにも対応。
3. 作業性と安全性がアップしている上、充実の各種機能を標準装備。
4. 広い荷台と余裕の積載量と、豊富な収納箱バリエーションをオプション設定

5. 業務内容に応じて自在に選択できる多彩な機能を準備。  
お問合せ 緯 048-781-2677



## 松下エコシステムズ株式会社

### ハイブリッドタワー 風かもめ」3 機種を発売 大幅な照度アップで明るく照らし デザイン性に優れ、安定した発電デバイスを搭載

松下エコシステムズ㈱は、風力・太陽光の 2 大自然エネルギーによる発電装置を搭載したハイブリッドタワー「風かもめ」3 機種を 12 月より発売。これまでのハイブリッドタワーは、LED や蛍光灯を用いたサイン灯や照明塔として採用されてきた。しかし、さらに明るい照明塔や、また商用電力の不要な電源装置として期待されてきた。

本製品は、小型風力発電と太陽光発電を利用し、標準装備の蓄電池から外部出力電源を取り、監視カメラやネットワークカメラなどの搭載が可能。これにより照明だけではなく、監視カメラやその他情報機器での用途が広がる。

#### 挙 主 な 特 長 渠

1. 外部出力電源の標準装備 (08 タイプを除く) で用途を拡大。
2. 多様な照明制御ニーズに応え、さ

まざまな点灯制御と減光制御。

3. 本体は 2 ボールの構造により、本体の強度を向上している。  
お問合せ 緯 0568-81-1511  
環境システム事業部 風かもめプロジェクト



## 三菱電機株式会社

### 無鉛はんだ太陽電池モジュール 欧米海外安全規格 (TUV・UL) 取得で 海外事業を拡大

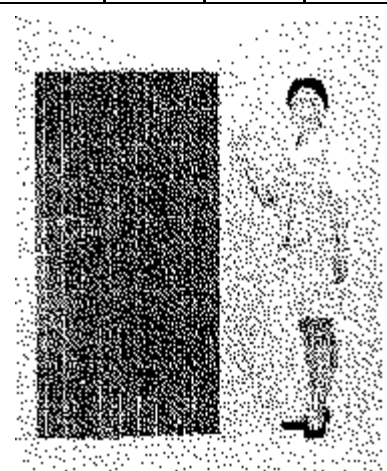
三菱電機㈱は、無鉛はんだ太陽電池モジュールの大出力タイプにおいて、海外安全規格を取得。

世界的な環境意識の高まりなどから欧州・米国を中心に海外で太陽光発電システム普及が急速に拡大しており、1998 年に太陽電池モジュール生産開始以降、国内市場を中心に太陽光発電システムの事業拡大を図り、2003 年 1 月に国内メーカーとして初めて「無鉛はんだ太陽電池モジュール」量産開始した。国際規格 (IEC 規格) に準拠した大出力タイプを新開発し、ドイツの T 管 V、米国の UL の海外安全認証を取得した。

本国際規格を取得することにより、海外市場においても事業拡大を進め、地球環境にやさしい太陽光発電システムの普及に貢献できる。

お問合せ 緯 0120-314-382

形 名	公称最大出力	モジュール変換効率	取得海外安全規格
PV-MF165EB3	165 W	13.1%	T 管 V
PV-MF160EB3	160 W	12.7%	U L



## D X アンテナ株式会社

### 地上デジタル放送対応のニューモデル 「スーパーバックオフ」の卓上形ブースタ 落ち着いたシックなデザイン

D X アンテナ㈱では、いよいよサービス開始となる地上デジタル放送に対応する「スーパーバックオフ」の家庭用ブースタとして、卓上形のニューモデル 3 機種を 12 月より新発売する。手軽な受信改善に最適なアイテムとして、年末の市場でも大きな注目を集めるものと見込まれている。

12 月 1 日から、三大都市圏で、いよいよ地上デジタル放送が開始されることに合わせ、同社では、人気商品の卓上型ブースタも全面モデルチェンジを行い、本格的なデジタル放送時代にピタリ適合する一層の高性能化を実現するとともに、使いやすさも一段と向上させた新形 3 機種を発売する。

バックオフとは、アナログ的には、出力最大レベルと出力飽和レベルの差 (マージン) をいい、デジタル的には、各伝送速度における最大出力レベルと

基準性能値を確保するための出力レベルとの差 (マージン) のことである。

#### 挙 主 な 特 長 渠

1. 地上デジタル放送に対応する卓上型の「スーパーバックオフ」。室内に設置して手軽に鮮明画像を再現。
2. CS / BS - IF、UHF、VHF / FM の帯域ごとに細やかな利得調整ができ、あらゆる電波状況に対応。
3. 容積比で従来機種の確以下との大幅なコンパクト化を達成。設置場所を選ばず、使いやすさが一段と向上。  
お問合せ 緯 078-682-0001



# 広告スペース





